

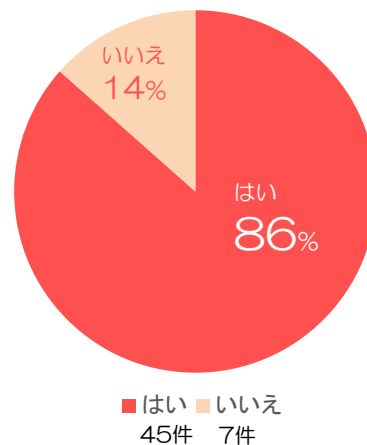
# 第3回 アンケート集計

アンケートのご協力ありがとうございました。（回答52名／151世帯）

いただいたご意見・ご提案などを参考に活動のしおりが完成しました。

対応できなかったご意見については、来年度以降の引継ぎとさせていただきます。

①現在年2回発行している広報誌ですが、紙での配付ではなく、袖西小HPなどで掲載する方法に変更してもよいか。  
（ご自分で印刷できる形で掲載する）



②来年度の役員募集を【立候補・推薦】で行う予定ですが、他の方法で何か案がありましたらお伺いしたいです。また、人数が集まらなかった場合の代替案もありましたら、重ねてお願いいたします。

・推薦はやめてほしい

・任意での参加となると、役員的人数が集まらない可能性も考えられると思います。いい代替案はなかなか思いつきませんが、役員の仕事をもっと細分化して、可能な限りお手伝いの方へ移行する、ということくらいでしょうか。現実にはなかなか難しいとは思いますが、役員とお手伝いの負担の差が小さくなっていくことが、役員的人数を維持することにつながるのかな？という気がします。

・募集対象を在校生の両親に限定せず、在校生の祖父母や周辺地域の年配の方達にも広げてみては？退職している人が多いただろうから、「仕事をしているから、PTAは無理！」ということにはならないはず。また「時間があるので、何か役に立ちたい」という思いの人がいる・・・といいなあ～・・・。

・他の募集案は思い浮かばないですが、人数が集まらなかった場合、その活動を会員が必要としていないのかと思います。青連協のように他団体も改革が進んでいることから、脱退や当番外しへの働きかけをするのはどうでしょうか。

・1人で担うのは心細いけど仲の良い人と一緒に同じ役職（例えば、副会長の地域担当を2人でやるとか）ができるなら等、柔軟なやり方にしてみては？

・人が集まらないものは「やらない」という決断が必要。PTAはあった方がいい、でも役員をやるのは「自分以外の誰か」という他責思考では任意のボランティア団体として成り立ちません。任意団体とは、本来その目的に賛同し自ら活動する人たちが集まって構成されるものですので、立候補者がいない以上、その活動は不要だという会員の総意とみなすことが妥当だと思います。

・特になし

・これまでいろんな経緯があって今のポイント制に落ち着いたということもあるので、役員が決まらないのであればポイント制に戻してはどうでしょうか。

・任意団体ですと、立候補・推薦以外の方法がないように思います。。厳しいですが・・・それによって人数が集まらない可能性もあり得ると思いますが、その場合特に外部との対応が難しくなる事が予想されます。この小規模学校での大々的な改革をしている事を外部に関わる相手方に伝えてその中で出来ること、どうしてもやらなければならない事をその時の人数でカバーし合いながらやっていく。動きながら考えていくというのが現時点では最善の策かなと思います。

